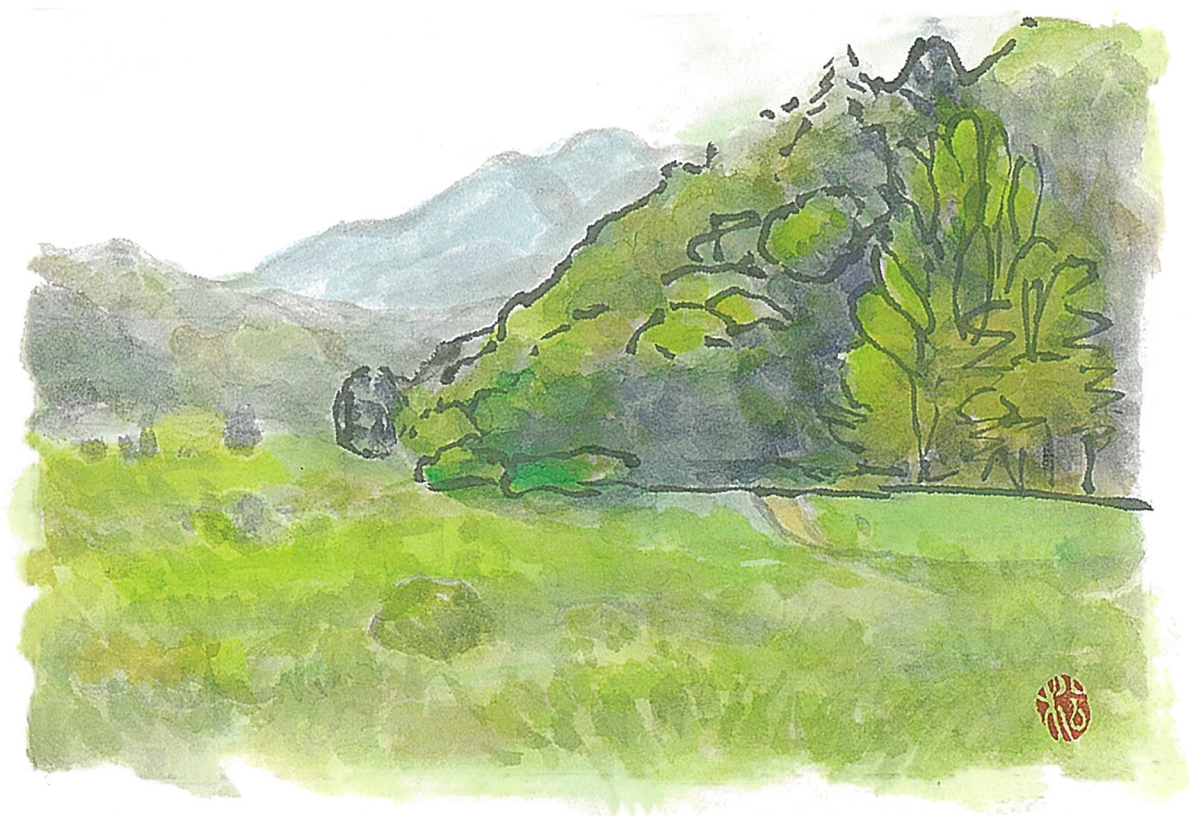


小丸山 (困る山)

(生竹)

生竹集落の南端の小丸山に矢止めの荒神様がお祀りしてある。小丸山は、生竹集落の一番かみ、小鴨川の西岸（左岸）にとび出た岩山で、^{なんこく}南谷や^{やおくり}矢送の方から流れて来た大洪水がこの小丸山にぶつかり、その反動の流れが、耳・若土集落を直撃し大被害を引き起こしていた。



小丸山と小鴨川の河原

生竹、中田の人たちにとっては守り神であるが、耳・若土の人たちにとっては、昔から度々、水田・畑・家屋が流され本当に困る山であった。そこで、耳・若土の人々は、小丸山さんを「困る山」と言っていたという。

(出典：『ふるさと小鴨谷 第一輯』上小鴨文化協会)